

子 ど も
お 仕 事 参 観 日

『子どもお仕事参観日』とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互い助け合っていこう、と職場の皆さんに再認識してもらう特別な1日です。

今回の訪問先はこちら！



株式会社 AIM

大館グリーンホテル

(大館市)

ホテル経営のほか、レストラン経営を大館市の市街地で行っている会社です。

今回の参加者はこちら！

2人のママのお子さん、2人です。

すずなさん（11）

たかとらくん（5）

『子どもお仕事参観日』
はじまります！

ママの職場へやってきました

株式会社 AIM が経営する大館グリーンホテルに2人の小さなお客さまがやってきました。

それぞれ、フロント業務とレストラン業務を担当するママの子どもたちです。

初めに飯田社長から『子どもお仕事参観日』のお話があった後、参加記念にバッジをもらいました。

うまくつけられたら、ママの職場見学を始めましょう！



ホテルのお仕事ってどんなことをするの？

まずはフロントのお仕事の見学です。

フロントではお客様の案内や伝票の整理など、様々な事務作業を行っています。

ママにはパソコンの画面を見ながら、宿泊予約の処理の方法を教えてもらいました。



子どもたちの体験メニューは伝票の整理と、シュレッダーがけです。

伝票の整理は数をそろえてまとめるもので、その手さばきはなかなかです。

シュレッダーがけでは指などをはさまないように気をつけながら、真剣な表情で取り組んでくれました。



フロント業務の次は、ホテルには欠かせないルームメイキング業務の見学です。
スタッフさんが手際よくルームメイクを進めていくのを子どもたちが見学していたところ、飯田社長からシーツを入れた袋を持ってみる？と提案が。

1人では持ち上げるのが大変なようなので、2人で力を合わせてよいしょ！



ここではスタッフさんが見せてくれたルームメイクのシーツはがしを体験してみます。
飯田社長やスタッフさんの手助けもあり、シーツをはがして袋に入れるまで、きちんとこなすことができましたね。



最後の見学場所はレストランです。
子どもたちはレストランには入ったことがあるけれど、厨房の中は初めての様子。
厨房で働くママのお手伝いで食器洗い機を動かしたり、お客様にお水を出したりしました。
小さなスタッフの頑張りをお客様はにこやかに見守ってくれました。



厨房に戻った子どもたちの前に、不思議な道具が用意されていました。
にんじんが片側に固定されていてハンドルがついているようですが、何に使うのかな…？
ママやスタッフさんにハンドルを回してみても、と促され回し始めると、反対側から細長くなったにんじんが出てきました。

そう、これはお刺身のつまをつくる道具です！

みるみるうちにできていくつまの小山を、子どもたちは面白そうに眺めていました。



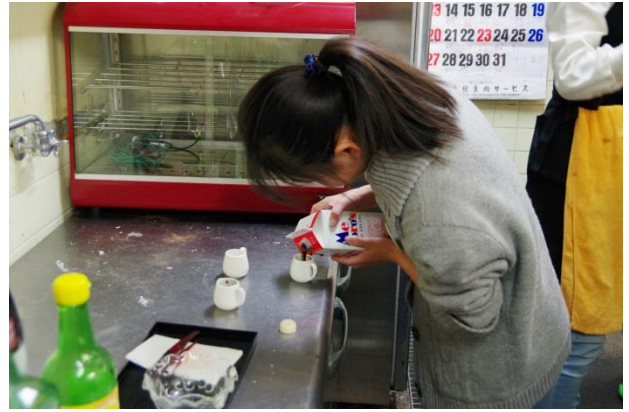
デザートをつくってみよう

今日は体験の一環として、子どもたちとママでデザートを食べることになっています。

『子どもお仕事参観日』なのでデザートを食べるだけでなくその前から始めよう、ということで、子どもたちに準備をお願いしました。

メニューはわらび餅。

お餅や黒みつを器に入れて、きなこがけをすると完成です。



慣れない作業でしたが、できればこのとおり！
自分でつくったデザートのお味はおいしさもひとしおかもしれませんね。



ママへのメッセージ

『子どもお仕事参観日』の最後は、ママへのメッセージを贈る時間です。

どんなことを書こうかな？と悩んでいた子どもたちは、時間をかけてメッセージを仕上げてくださいました。

メッセージを考えるのは難しかったかもしれないけれど、ママを思う子どもたちの気持ちはちゃんと伝わったはずですよ。



記念写真はパパも一緒にパチリ！ 素敵な一日となった『子どもお仕事参観日』でした。



『子どもお仕事参観日』を終えて

<ママから>

- 以前の職場には子どもを何回か連れて行っており、同僚に年の近いママがいたので子どもの話もよくしていました。今の職場では連れてきたのは初めてですが、土日は休みですし、急な場合でも休みやすい環境だと思います。
- 学校が休みの日など、何回か連れてきたことがあります。病院に連れて行くときや PTA などでおむつときは、社長などまわりのスタッフがサポートしてくれるので助かっています。
- このような取組は家族が働いているところを見る良い機会になるため、自分たちの家族にもすすめてほしいですね。

<職場の方から>

- スタッフの子どもがたまに職場に来るので、少しおしゃべりしたこともありました。ざっくばらんな社風で、積極的に皆とコミュニケーションをとるようにしています。子育て中も含めスタッフができるだけ自由に休みを取られるよう、支配人などがフォローに入り柔軟に対応しています。この取組をすることで、スタッフやその家族の会話のきっかけになりますし、社内の相互理解にもつながるのではと思います。



株式会社 AIM さん ありがとうございました！

秋田県は、仕事と育児・家庭を両立しやすい職場づくりを応援しています！

詳しくは、秋田県企画振興部人口問題対策課まで Tel : 018-860-1249

こちらをご覧ください。

○秋田県少子化対策総合ウェブサイト ベビーウェーブ・アクション

<http://common3.pref.akita.lg.jp/babywave/>

○ベビーウェーブ・アクション Facebook

<https://www.facebook.com/babywave>